

# さくらの里だより

もう12月。1年は早いものですね。

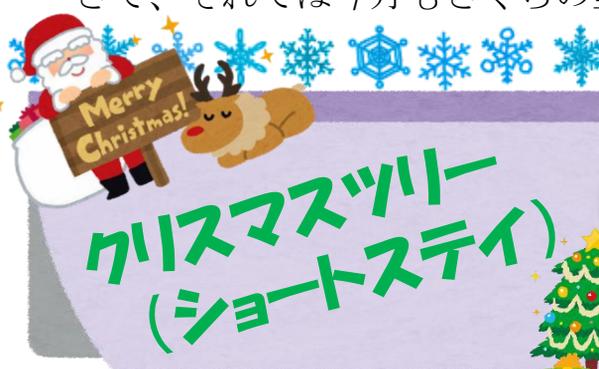
皆さんは年末・大掃除や新年を迎える準備はお済みですか？

新年には年賀状を送るのが当たり前となっていますが、いつ、なぜ年賀状が生まれたのか知っている人は少ないのではないのでしょうか。そこで、今回は年賀状の起源について少しだけご紹介したいと思います。

年賀状は平安時代から始まったとされています。この頃からお世話になった方や親族に新年の挨拶をして回る「年始回り」という習慣が広まりました。挨拶に手紙を使用するのは一部の貴族のみ。江戸時代に入ると、今の郵便の先駆けとなる「飛脚」が充実し、庶民が手紙で挨拶を済ませることが増えたようです。この頃に「名刺受け」が玄関に設置されたそうです。現在のはがきスタイルになったのは、明治時代に登場した官製はがきがきっかけとなり、多くの人が「1月1日」の消印を押してもらうため、年末に年賀状を投函し、郵便局の仕事量が普段の何十倍にも跳ね上がったと言われています。

年賀状はなかなか連絡を取れない方とも、年に1度のやり取りでお互い近況を知ることができるので楽しみの一つでもありますよね。

さて、それでは今月もさくらの里の近況もお伝えしたいと思います。(チバ)



もうすぐクリスマスですね。

皆さんにはどんなクリスマスの思い出がありますか？

子供から大人までクリスマスってなんだかワクワクしますよね(^\_-)-☆

ショートステイでは、先日皆さんと一緒にツリーの飾りつけを行いました。「そいずはこっちがいい」「もっと、くるっと全部さやっぺし」等、皆さんがバランスを考えながら上手に飾りつけを行っていました。職員が「サンタさん来るかなー?」「プレゼントくれるかなー?」と話す「大丈夫、来てくれるよ♪」と優しいお言葉を返してくださいました。



各ユニット綺麗に飾りつけが終わり、あとはクリスマスを待つばかり★

今年はどんなクリスマスになるのでしょうか。皆さんのところにサンタさんが来てくれますように☆ (ミチコ)



# 秋刀魚 & 焼き芋祭り (特養)



晴れた10月のある日☆  
秋の秋刀魚祭り・焼き芋祭りを  
開催しました(^.^)/~~~



お天気にも恵まれ、大きなさつまいもを濡れた新聞紙とアルミホイルにくるんで焼きました♪  
「立派な芋だね～！」と会話しながら作業されていました。昼食には焼いた秋刀魚と焼き芋(^.^)v  
皆さんと美味しく頂きました☆  
「ん～美味しい(´▽`\*)」と満面の笑顔が見られました♪とても好評でした☆  
また、来年もみんな揃って食べましようね☆  
(ダイサク)



熱いよ！気をつけてね♪



# ゲーム活動 (デイサービス)

デイサービスは『スポーツの秋』もとい『ゲーム活動の秋』でした。

ボッチャやグランドゴルフ、輪投げ等々、様々なゲーム活動を行いました。

始めは「できないから」と自信のない方も、いざボールやスティックを手にする  
と真剣な表情になり、投げたり、転がしたりと集中して取り組まれていました。  
ボールや輪っかが的に当たったり、入ると「やったー！よし！」とばかりの  
顔になり満面の笑顔になられていました。

また、11月14日(月)には恒例のカフェ行事を開催しました。

今月はシフォンケーキにお好みのフルーツとクリームを添えたスイーツです。

ナイフとフォークを使って上手に食べていらっしゃいました。(イワブチ)



お好みのスイーツが出来上がりました♪

# お散歩コースは土手 (ケアハウス)



皆さんのとっても素敵な笑顔をご覧ください☆



11月3日(木) 9日(水) 河川敷の土手まで皆さんと散歩に行つて来ました。坂を登り土手上がると、澄み渡る空気と白鳥の鳴き声、川や桜の木紅葉した景色が目映りました。「近所なのに別世界みたい」「あら～！」と、自然に笑みがこぼれておりました。

コロナ禍で外出の機会が減り、目の前の景色が代わり映えしない日々を送りがちな今日この頃。ほんのひと時の散歩でしたが、違う世界に行ったような気持ちになるほど爽快な気持ちが伝わってくるような散歩でした。

一緒に行くことが出来ない方もおりましたので、また別の機会にご一緒しようと思います(^\_-)-☆ (オジマ)



よろしく  
お願いします



## 職員紹介



- <名前> 長東 博史 (ナガツカ ヒロシ)  
<部署> さくらの里若柳 ケアハウス  
<一言> 趣味はドライブをすることです！  
コロナが再び増えてきていますので、  
皆さんも十分に気を付けて下さい！  
一緒にコロナを乗り切りましょう！！

※うぐいすの里グループホーム・ケアハウス・  
芍薬の里(色麻)でもお世話になりました。



# 栗原のグルメ 「丸長精肉店」 さん

今回ご紹介させていただくのは、若柳新町にある「丸長精肉店」さん。さくらの里の職員も多数ごひいきにさせていただいています。お店に入ると「いらっしゃいませ。いつもありがとうございます」と笑顔で出迎えてくださいます。お店には、上質な豚肉や牛肉、鶏肉の他、揚げたてのフライや手作りのお惣菜が多数陳列しています。そんな丸長精肉店の佐々木長悦朗さん、福子さんご夫妻にお話を伺いました。



佐々木長悦朗さん、福子さんご夫妻



## Q1・創業は？

昭和25年に先代のお父様から始められ、現在は佐々木さんご夫婦が2代目を受け継がれ、義妹さんと3人でお店を切り盛りされています。



旬の野菜や果物、調味料にお菓子など

## Q2・人気商品は？

精肉はどれが人気ということはなく、皆さんのその日の献立によって変わるようです。皆さんから「料理によって切り分けてくれるし、柔らかくて臭みがない」と言われているそうです。

お惣菜ではトンカツやハムカツ、チーズロール、角煮が喜ばれているそうです。「昔、お弁当に入っていたトンカツやハムカツが美味しくて子どもにも食べさせたい」と親世代になった方々が遠方からも買いに来てくれているそうです。



## Q3・お店で大切にしていることは？

「お客さんが食べておいしかったよと、笑顔でまた買いに来てくれることが何よりもうれしい。いつもそう思ってもらえるよう頑張っています。それが私たち夫婦のモットーです」と話しておられました。

店内には他にも旬の野菜や果物、調味料にお菓子なども置いてありました。これもお客さんのことを考えた心遣いだと感じました。丸長精肉店さんはお客さんを大切にしている「若柳の台所」ともいえるお店でした。皆さんもぜひ足を運んでみてください。お忙しい中、快く取材を受けて頂きありがとうございました（マサヨ）

## 編集後記

感染予防をしっかりと、お正月をのんびり安心して過ごせるようにしたいものですね。

今年最後の広報誌となります。皆さん、良いお年を☆彡（アユミ）

